

「天皇制に抗うキリスト教界の声」

2019年10月23日

22日（火）は、天皇の「即位の礼」が行われ、テレビ報道は一色に染まった感がある。国民が主権を持つ民主国家ではなく、あたかも天皇国家になったかのような様相で、愕然とした。天皇制は神話と伝統によって作られたものであるが、多くの国民は天皇制が持つ意味については思考を停止し、ありがたく受け止めているようである。キリスト教は地上の何ものも神にしない、神は人を出自によって尊卑を分け隔てなく、祝福を与えている。今日の言葉で言えば、人は皆、等しく「尊厳」を持って生まれて来たことを信じる信仰である。差別の上に立ち、差別を助長する天皇制を受け入れることは、あり得ない。

キリスト教の月刊誌「福音と世界」は11月号で「天皇制を拒否するために」という特集を組んでいる。その中で「拒否を宣言する 天皇制に抗うキリスト教界の声」を掲載している。声明、宣言、メッセージから、要点を抜粋して転載したい。

「内奏」の誇示、天皇の政治利用への抗議声明 2019年2月27日 日本キリスト教会靖国神社問題特別委員会 「内奏がさも当然であるかのように公然と強行したのは、従来の一線を越えた憲法への挑戦である。（中略）このような違反と越権行為は、天皇が象徴以上の特別な存在であるかのような錯誤を内外に引き起こし、貴職（内閣総理大臣）の政治的立場や主張、政策を天皇があたかも了解、承認したかのような印象をふりまく政治利用にほかならない。」

天皇の「代替わり」の諸行事に関して政教分離と国民主権の原則を厳守するよう求める声明 2018年10月10日 日本キリスト改革派教会 「前回の『代替わり』において行われた諸行事は、天皇を現人神とする明治憲法下で公布された旧皇室典範と登極令を踏襲したものであり、日本国憲法の政教分離と国民主権の原則に大きく反するものです。」

私たちは「即位礼正殿の儀」「大嘗祭」に反対します 2019年9月12日 日本バプテスト連盟理事会 「この『大嘗祭』は祭政一致であった古代文書の文献に記録があるとはいえ、現在の様式は日本帝国憲法下で皇室神道を国民統合に利用するために整えられた宗教儀式であり、頂点に立つ天皇を神格化し、その下で『八紘一宇』の思想を世界に広げる戦前の国家戦略を表わすものでした。（中略）この儀式に全国の都道府県知事の全員に参列が要請されていることは、すべての国民に神道的価値観を押し付け、個人の信教の自由を侵すものと言わざるを得ません。」

即位の礼・大嘗祭に関する宣言 2019年3月22日 日本同盟基督教団第70回教区総会 「私たち日本同盟基督教団は、平和をつくる者とされているにもかかわらず侵略戦争と植民地支配に協力し、自ら神格化された天皇に膝を屈め、植民地とした国の人々の偶像礼拝を強要した罪を悔い改めました。私たちは今ここに、聖書の啓示するイエス・キリストのみを主と告白し、『信仰と生活の唯一絶対の規範である』神のみことばに聞き従う決意をあらたにいたします。」

2019年 日本基督教団・在日大韓基督教会 平和メッセージ（2019年8月1日）「本年5月、天皇の代替わりに伴い、改元が実施されました。しかし、国民が主権者であるべき日本において、社会生活の時間が天皇の交替に支配されることに強い疑念を覚えます。」

天皇「代替わり」関連行事に関する見解 2019年3月7日 日本福音ルーテル教会社会委員会 「天皇の代替わり儀式にともなう祝意の強制は、人の上に人を戴くことを強制するという点で、聖書の神以外のものを神としないことを信仰の核心に据え、この神の前におけるすべての人の平等を旨とするキリスト教信仰と相容れないものです。」